



COSTUME JEWELRY

Pioneers of Style

Chanel, Dior and Schiaparelli
From the Chisako Kotaki Collection

コスチュームジュエリー

シャネル、ディオール、スキャパレッリ 美の変革者たち
小瀧千佐子コレクションより

2024

4.26 (fri)

6.30 (sun)

開館時間 10:00-18:00
金曜日は20:00まで(入館は閉館の30分前まで)

休館日 毎週月曜日
(ただし4月29日(月・祝)と5月6日(月・振休)は開館)、
4月30日(火)、5月7日(火)

主催：愛知県美術館、中京テレビ放送 監修：小瀧千佐子
特別協力：ウィリアム・ウェイン (コスチュームジュエリー研究者/イギリス、ロンドン)
学術協力：ディアンナ・ファルネッティ・チェーラ (コスチュームジュエリー研究者/イタリア、ミラノ)
協力：chisa、株式会社世界文化社 企画協力：株式会社キュレイターズ
後援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ

愛知県美術館

[愛知芸術文化センター10階]

aomoa
aichi ornamental museum of art

AICHI ARTS CENTER

AMBASSADE
DE FRANCE
AU JAPON
INSTITUT
FRANCAIS
D'ART ET
D'HISTOIRE
NATURELLE

 [costumejewelry_aichi](https://www.instagram.com/costumejewelry_aichi)



展覧会公式サイト▶

掲載写真は出品作品より 小瀧千佐子蔵/個人蔵

「これは、偽りなく美しい“ニセモノ”のジュエリー」

—あえて本真珠と模造パールをあわせて身につけた、ガブリエル・シャネルの言葉です。彼女にとって、素材が何であれ、デザインやスタイルにこそ真の価値があることを表しています。

コスチュームジュエリーとは、宝石や貴金属を用いず、ガラスや貝、樹脂など多種多様な素材で制作されるファッションジュエリー。素材から解放され自由なデザインを提案できるコスチュームジュエリーを、20世紀初頭のポール・ポワレが先駆けとなり、以降シャネルやディオール、スキャパレリなどフランスのオートクチュールのデザイナーたちがこぞって取り入れました。やがてヨーロッパ、そして戦後はおもにアメリカで、コスチュームジュエリーは広く普及し、当時の女性たちに装う楽しみだけではなく、生きる活力、自由や自立の精神をもたらしました。

本展は20世紀初めから戦後に至るコスチュームジュエリーの歴史的展開を紹介する、日本初の展覧会です。小瀧千佐子氏による世界的に希少なコレクションからジュエリー約450点と、当時のドレスやファッション雑誌などの関連作品を通して、その魅力をご堪能ください。



関連イベント

記念講演会

「コスチュームジュエリー 美の変革者たち
—シャネル、ディオール、スキャパレリ」

日時 | 5月18日(土) 13:30 - 15:00 (13:00開場)

講師 | 小瀧千佐子(本展監修者、コスチュームジュエリー研究者)

会場 | アートスペースA (愛知芸術文化センター12階)

定員 | 180名

※聴講無料 (ただし本展の観覧券が必要です)

※事前申込不要

そのほかのイベントについては、本展公式サイトをご覧ください。

観覧料

一般 1,800(1,600)円

高校・大学生 1,200(1,000)円

中学生以下無料

※()内は前売券および20名以上の団体料金です。 ※上記料金で本展会期中に限りコレクション展もご覧いただけます。 ※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳(愛護手帳)、特定医療費受給者証(指定難病)のいずれかをお持ちの方は、各券種の半額でご観覧いただけます。また付き添いの方は、各種手帳(第1種)もしくは「1級」または特定医療費受給者証(指定難病)をお持ちの場合、いずれも1名まで各券種の半額でご観覧いただけます。当日会場で各種手帳(スライド可)または受給者証をご提示ください。付き添いの方はお申し出ください。 ※学生の方は当日会場で学生証をご提示ください。

【ご購入場所】

アソビュー!、ローソクチケット、セブンチケット、チケット

ぴあ、主要プレイガイド、コンビニエンスストアほか

※チケットの種類により、一部のみでのお取り扱いとなる場合があります。

※愛知県美術館チケット売り場では、当日券のみご購入いただけます。



愛知県美術館 [愛知芸術文化センター10階]

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2

地下鉄東山線・名城線「栄」駅/名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、

オアシス21連絡通路利用徒歩3分

お問い合わせ | 愛知県美術館 052-971-5511(代)

美術館ウェブサイト <https://www-art.aac.pref.aichi.jp/>

1. ポール・ポワレ《夜間用マスク、プレズレド“深海”》(制作:マドレーヌ・バニソン) 1919年 メタリックチュールにガラスビーズとクリスタルガラスで刺繍 (Florence Müller, Costume Jewelry for Haute Couture, Patrick Sigal ed., London, Thames & Hudson, 2006) 2. リーン・ヴォートラン《ブローチ》1948年頃 エナメル彩、金色ブロンズ 個人蔵 3. スキャパレリ《クリップ“ハート”モチーフ》(デザイン:ジャン・シュルンベルジュール) 1938年頃 エナメル彩、メタル、ラインストーン 4. スキャパレリ《ネックレス“葉”》(デザイン/制作:ジャン・クレモン) 1937年頃 クリアエナメル彩、メタル、メッシュ 個人蔵 5. シャネル《ブローチ》(制作:ロベール・ゴッソサン) 1950年代 模造ルコ石ビーズ、ガラスベース、メタル 6. スキャパレリ《クリップ、ブローチ“キュービッド”モチーフ》(デザイン:ジャン・シュルンベルジュール) 1937-38年 メタル 7. リーン・ヴォートラン《イヤリング“サカス”のメリーゴランド》1945年頃 金色ブロンズ 個人蔵 8. クリスマン・ディオール《ブローチ“白鳥”モチーフ》(デザイン/制作:ミッシェル・メイヤー) 1954年頃 ラインストーン、模造パール、メタル 個人蔵 9. シャネル《ブローチ“蜂”モチーフ》(制作:メゾン・クリボワ) 1990年代後期 ベルト・ヴェール・エナメル ガラス、メタル 10. スキャパレリ《ブローチ“サーカスの馬”モチーフ》1938年頃 陶器、メタル、模造パール 11. ロゼ・ジャンピエール《クリップ》1960年代 クリスタルガラス、メタル (所蔵表記のないものは小瀧千佐子蔵) (6, 8, 9, 11 写真協力:株式会社世界文化社/撮影:鈴木一彦)